

泉南走ろう会

連絡先 泉南スポーツ社
07248-3-4653

ランニングのつれづれ

「追憶」

会長 遠藤 三

四月、五月がどうも体の調子がおかしい、それもそうだろう。夏の酷暑、冬の厳寒に、三月のブルランに備えてのトレーニングが知らず知らずの間に体に疲労が蓄積されていたのであろう。そこで或る日、今日はゆくりと走ろうと思ひ「墓の谷」へ走りに行くこととした。六十谷駅より少し行くとこの土木作業所で、走る服装に着がえ、正前九時三十分スタートする。そうだが、この墓の谷は戦時中に武運長久を祈りにたたく人の人が参つた所である。私は昭和十七年に海軍を志願する。しかし体が弱く不合格となる。泉南地区より合格した十三人は、その時「まあ、この坂道を走るなんて大変なことだ、気をつけてや」と老人より声あり。追憶は一時中断する。私は有難さういって走り続ける。その十三人は全員生きて帰るこゝとが出来なかった。戦死あるいは戦病死となる。その翌年戦争は激化し、私は祖国防衛のため、そして飛行機搭乗員を志願する。そして倉敷内地にてインスタント教育、三ヶ月をたたく。三年

間も受けなかつた外地に行く。そこでは「食うか食われるか」世界の搭乗員を作る。そうではないと敵に殺される」ときびしい訓練を受ける。家から便りあり、墓の谷へ武運長久を祈っている。家のことは心配せず、軍務に励めと私は毎日毎日それはく烈しい訓練を受ける。言語に絶するものである。何人かは訓練中に死亡する。その時又その荷物を背負って走らなくては出来ないと、遺言を残してやれと声あり。私は荷物なんか背負って走りつらくないが、着替の服をサドルバックに入れていた。それを荷物と見たのであろう。私は「ド、ド」と言て走る。追憶は中断する。もう三十分も走っている。間もなくゴールだ。景色を見ながらゆくりと走る。墓の谷へ到着する。所々タムシムア平今であった。「この墓の谷へなあと感無量である。今は母校合格祈願の墓の谷となっている。こぼれ返れとするが、先日テレビで「祝賀の戦記」があり、その中で私達航空隊の隊長であり司令であった中丸海軍中將の戦死の様相を知った。涙が私の頬伝う。その時私と同輩と思える人が私の走る姿を見て「これ、これ」と言て後は絶句する。私は人を驚かすつもりでなく、自分がぬきで走っているのがあるが、人が見れば奇異に感じるのであらう。追憶が中断したか、私が走り続ける。そして着替の場所に着く。三十分であった。何も私の走るのを見て驚くことはいない。それよりも、えんぴつところで真、裸になつて服装を着替えている方が驚きであらうと私は思う。墓の谷へのランニング

かが終わった。こうして走れるのも、日本は平和である。平和であるという事はいいことだ。今日の日本の繁栄は戦後アメリカの援助の賜物と言ひ、切る人がいる。それもあるだろうが、さらば祖国を築きあげろと戦場を散った人がいる。私達の身近かに。私の身近に私の従兄弟文が戦死した。私の小学校の同級生の名前が陸の谷の慰霊堂に文がある。ランナーが碑を思い、何を考え、走っているのか、ランニングのつれづれとして記す。

雑談雑認

ランナーでタバコ吸う奴がいる
走らずにタバコ吸う奴がいる
この頃の靴下が弱いと言う人がいる
半年は持つと言う人がいる
走らなければ一年も二年も持つ
風邪を引いた
風邪引はすべて不摂生だ
足に豆が出来た
自業自得だ
走るためにビルをのむ
のむために走る
一体どうなっているのか
引世紀へ向けての泉南走ろう会の展望
歩かずに奈良古代明日香フルマランを
完走しよう



◎お知らせ

- 一、例会日 五月十八日午前九時 新築公民館集合
- 一、コース みどり豊かな泉南を走ろうコースは比叡と相談して決める。

備考 栗野原 遠所甲ありて

当日は欠席